



寄稿

1 関西電力グループの 社会貢献の取組みに ついて



関西電力株式会社 理事
和歌山支社長

酒徳 俊夫



1. はじめに

「power with heart」。この言葉は関西電力グループのブランドステートメントです。当社のCM等でこの言葉を耳にしたことがある方もいらっしゃるのではないのでしょうか。先日、当社の社員が業務で訪れた小学校の児童のみなさんに「関西電力という会社を知っているかな？」と質問したところ、「知ってる！power with heartの会社！」という答えが返ってきたそうです。その話を聞き、「power with heart」という言葉がそれだけ認知されていることを嬉しく思うとともに、言葉だけでなく、そこに込めた“まごころと熱意を込めたサービスで、お客さまや社会の『力』になりたい”という想いも含めて社会のみなさまにもっと知っていただけるよう、当社の活動を通してその想いをしっかりと体現していきたいと意を新たにしましたところ です。

さて、当社グループは、1951年の発足以来70年以上にわたって電気・ガスのエネルギー事業を中心に事業活動に取り組んできました。さらには、エネルギーの枠を超え、情報通信事業や生活・ビジネスソリューション事業等の新たな領域にも挑戦してきました。また、地域に根ざした企業グループとして、事業活動を通じた社会課題解決に加え、企業市民として、地域社会への貢献・活性化の取組みも進めてきました。

その中で、今回は、地域社会のみなさまにこれらの活動の一端である、当社グループの社会貢献活動の取組みをご紹介します。

【ブランドステートメント】

power with heart

(デザインに込めた意味)

力強く躍動感のある斜体、やわらかい印象を与える小文字と温かみを感じるウォームグレーの色味で、「power with heart」の言葉が持つ力強さとやさしさを表現。「新風」をモチー

フにしたオレンジの曲線デザインを加えることで、新しい時代においても変革し続けるというグループ従業員の熱意も込めています。

2. 関西電力グループ社会貢献活動方針

○社会貢献活動方針の制定

当社グループはこれまで、地域や生活に密着した事業者として、様々なステークホルダーと

連携しながら、地域経済や地域コミュニティの活性化に向け社会貢献活動を実施してきました。

今日、人口減少や環境問題をはじめとした社会課題が先鋭化、鮮明化する中、企業市民としての活動も含めた社会貢献活動をこれまで以上に積極的に展開していくため、2024年6月、「関西電力グループ社会貢献活動方針」を制定しました。

◆関西電力グループ社会貢献活動方針

地域や社会の『力』になりたい

関西電力グループは、「関西電力グループ社会貢献活動方針」を以下のように定め、この基本方針に沿って、事業活動を通じて地域や社会の期待に応えるとともに、良き企業市民として、様々な活動を行っていきます。

- (1) 関西電力グループは、地域や社会の持続的な発展のために、様々なステークホルダーと連携し、地域や社会の課題解決や活性化に積極的に取り組みます。
- (2) 関西電力グループは、地域や社会のみなさまとの対話を大切にし、保有する経営資源を活用した取組みを行います。
- (3) 関西電力グループは、従業員一人ひとりの自発的な活動を尊重し、社会貢献活動への積極的な参加を支援します。

【重点分野】環境保全、地域活性化、次世代層育成

○取組み内容

当社グループは、「関西電力グループ社会貢献活動方針」に掲げた重点分野を中心に、地域や社会の課題解決や活性化に取り組んでいます。

◆環境保全

当社グループのノウハウを活かした清掃活動や、発電所周辺の生態系保全、地域のみなさまと連携した美化活動などに取り組んでいます。

・〈一例〉関西電力グループ環境月間

当社グループでは、6月を「関西電力グループ環境月間」と定め、グループ全体で環境に関する取組みを行っています。「つたえよう 明日へ 未来へ 美しい地球を」をテーマに活動しているこの取組みは、今年で50回目を迎えました。地域の清掃活動や植樹活動、環境教育

等地域のみなさまとともに環境について考える様々な行事を実施し、持続可能な社会構築への貢献を目指しています。

◆地域活性化

地域に根差した伝統文化や芸術、スポーツ支援をはじめ、地域への貢献・活性化の取組みを地域のみなさまとともに進めています。

・〈一例〉かんでんコラボ・アート
(社会福祉支援)

障がいのある方々にアートの創造を通じて自己を表現する喜びを感じていただき、また作品をご覧いただく方々にその魅力や作者の可能性を感じていただくことを目的に、2001年から「かんでんコラボ・アート」を毎年開催しています。受賞作品などは展示会やホー

ムページを通じて紹介しています。

◆次世代層育成

エネルギーミックスやゼロカーボンの重要性について様々な方々に共に考えてもらう機会を創出するため、説明会や小・中学生への授業などを実施しています。

・〈一例〉エネルギー教室

関西電力株式会社では未来を担う子どもたちにエネルギーを身近に感じてもらい、その大切さを伝えることがとても重要だと考え、1997年から当社従業員が地元の小・中学校などに伺って授業を行う「エネルギー教室」を実施しています。この「エネルギー教室」では、発電や送電の仕組みのほか、電気の使われ方や省エネの大切さ、地球温暖化問題などについて、楽しく、わかりやすく学んでもらえるよう工夫を凝らし、ご説明しています。

3. 和歌山エリアの取り組み

和歌山エリアにおいては、地域統括機関である関西電力（株）和歌山支社のほか、関西電力（株）ソリューション本部、再生可能エネルギー事業本部（田辺水力センター）、火力事業本部（御坊発電所）、関西電力送配電（株）和歌山本部などが事業活動を展開しており、それぞれが重要な役割を担っています。各々の活動はもちろんのこと、時には部門や会社の垣根を越え、関西電力グループとして地域の課題解決や活性化に向けて取り組んでいます。ここでは、和歌山エリアにおける社会貢献の主な取り組みをご紹介します。

◆環境保全

・清掃活動

「関西電力グループ環境月間」や「地域感謝月間」に合わせて各事業所周辺の清掃活動に取り組んでいます。また、自治体主催の「おもてなし大清掃」や「スポGOMI大会」等に参加し、地域のみなさまとともに地域の美化活動に取り組んでいます。



▲清掃風景



▲清掃活動時の集合写真

・地元の園児たちとサツマイモ植え （関西電力（株）御坊発電所）

近隣の幼稚園の子供たちを発電所構内に招待し、発電所員と一緒にサツマイモの苗植えを実施しています。この取り組みは1999年から実施しており、参加する近隣の幼稚園では6月の恒例行事となっているため、毎年子供たちが楽しみにしています。秋の収穫祭では、採れたサツマイモを幼稚園に持ち帰り、子供たちが自ら植えたサツマイモを味わいます。苗植えや収穫を体験してもらうことで、地域の子どもたちに環境について考えてもらう良い機会となっています。

◆地域活性化

・文化財等の電気設備点検

（関西電力送配電（株）和歌山本部）

地域の寺社等の文化財や公民館等の災害避難指定場所の防火に繋げるため、電気設備点検を行っています。漏電や電気配線の異常について調査し、お客さまの設備に合わせた電



▲御坊発電所構内でのサツマイモ植えの様子



気の安全な使い方をお知らせしています。橋本配電営業所では7月、高野山総本山金剛峯寺で電気設備診断を実施し、重要文化財に指定された大主殿などで漏電がないかの測定を行いました。今後もしっかりと電気設備点検を行い、地域の貴重な文化財や建物等を電気のトラブルから守っていきます。



▲大主殿での電気設備点検の様子

・地域イベントへの参加

関西電力グループでは、地域の発展や活性化の一助として、地域に根ざした伝統文化や地域行事に様々な形で協力しています。

和歌山エリアでは8月、和歌山市の夏の風物詩である「第56回紀州おどりぶんだら節」に運営ボランティアとして参加しました。当日は、関西電力（株）和歌山支社や関西電力送配電（株）和歌山本部の社員らが集まり、夜の和歌山城を彩る「竹燈夜」の竹灯籠の設置やキャンドルの点灯作業を行いました。灯った竹灯籠は、ぶんだら節に訪れた人々に幻想

的な空間を演出するとともに、祭りの雰囲気を盛り上げてくれました。



▲竹灯籠設置作業の様子

キャンドル点灯作業の様子



また、関西電力（株）和歌山支社は11月、「青少年のための科学の祭典ーおもしろ科学まつりー和歌山大会」に出展しました。2000年から開催されている「おもしろ科学まつり」は、地域の学校や行政機関、企業、有志団体等が協働して開催している和歌山地区最大級の科学や技術に関する教育イベントです。当社が保有する

実験道具による発電体験等を通して、訪れた人たちに科学の面白さや楽しさを伝えました。

当社グループは、様々な地域イベントへの参加を通して、地域の活性化に貢献しています。



▲イベントでの発電体験の様子

◆次世代層育成

・エネルギー出前教室

(関西電力(株)和歌山支社)

和歌山県内全域の小・中学校でエネルギー教室を実施しています。昨年度は、小学生・中学生合わせて1080名の生徒さまに対して授業を実施しました。子供たちからは、「とても楽しかった」「また授業を受けたい」「電気のお勉強が好きになった」という感想が寄せられ、教職員のみなさまからもご好評をいただいております。

また、2023年度からは、三井住友信託銀行株式会社和歌山支店様と共同で小学校向けSDGs出前授業を実施しています。「未来を担う子どもたちに脱炭素社会の実現について

知ってもらい、考えるきっかけにしてもらいたい」という両社共通の思いのもと、三井住友信託銀行様からは、銀行へのお年玉貯金が太陽光発電や風力発電の設備投資に繋がることを伝える授業を、当社からは、地球温暖化実験装置をはじめとする様々な実験道具を活用しながら地球環境問題やエネルギーの大切さについて伝える授業を実施しています。この小学校向けSDGs出前授業の取組みは、和歌山市SDGs推進事業実行委員会主催の「令和5年度和歌山市ベストSDGsアクション」において、奨励賞を受賞しました。

4. さいごに

関西電力グループはこれまで、地域に根ざした企業グループとして「お客さまや社会の『力』になりたい」という想いのもと、地域社会への貢献や活性化の取組みを進めてまいりました。

そして、これからの時代。世の中や当社を取り巻く環境がどれだけ変化しようとも、その“想い”が変わることはありません。

これからも地域のみなさまの声にしっかりと耳を傾けながら、地域や社会の課題解決や活性化により一層積極的に取組んでいきます。また、地域の一員として、地域のみなさまとともに持続可能な社会の構築に貢献していきます。

「power with heart」の想いを体現し、地域のみなさまにお届けできるように、当社グループ一体となって取組んでまいります。



▲エネルギー教室の授業の様子